

14年3月3日の北朝鮮による弾道ミサイルの発射について (イメージ)

弾道ミサイルの発射時刻(概略)

- ① 6時20分頃
- ② 6時30分頃



現時点までに得られている諸情報を総合的に勘案すると、今回の北朝鮮による弾道ミサイルの発射の概要は以下のとおりとなる。

○発射の状況

北朝鮮は、朝鮮半島東岸の元山(ウォンサン)付近から、弾道ミサイルを2発、東北東に向けて発射したものと考えられる。

○落下推定地点

いずれも、朝鮮半島の東約500kmの日本海上に落下したものと推定される。

北朝鮮の弾道ミサイルについて

(防衛白書、JANE'S STRATEGIC WEAPON SYSTEMS等)



	スカッドB/C	ドン	テポドン1	ムスダン	テポドン2
射程	約300km／約500km	約1,300km	約1,500km以上	約2,500～4,000km	約6,000km／約10,000km以上(派生型)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 81年、エジプトよりスカッドB及びTEL(Transporter-Erector-Launcher)を輸入 ○ スカッドCは、スカッドBの寸法を変えることなく、内部の推進剤タンクを大型化 ○ 80年代半ば以降、スカッドB/Cを生産・配備するとともに中東諸国などへ輸出してきたとみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スカッドCのエアフレーム及びエンジンを大型化 ○ 我が国のほぼ全域がその射程内に入る可能性があり、既に配備されていると考えられる ○ 開発に際し、パキスタン・イラン・リビアと協力関係にあったとの指摘 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1段目にドン、2段目にスカッドを使用 ○ テポドン2を開発するための過渡的なものであった可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北朝鮮が90年代初期に入手したロシア製SS-N-6を改良したとの指摘 ○ 現在、開発を行っているものと考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1段目にドンの技術を利用したエンジン4基を、2段目に同様のエンジン1基を利用と推定 ○ 現在、開発を行っているものと考えられる
実績等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 06年7月5日にキテリョンから発射されたものと考えられる ○ 09年7月4日にキテリョンから発射された可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 93年5月の発射実験で使用された可能性が高い ○ 06年7月5日にキテリョンから発射されたと考えられる ○ 09年7月4日にキテリョンから発射された可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 98年8月31日にテポドン地区から我が国の上空を飛び越える形で発射された弾道ミサイルの基礎 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 06年7月5日にテポドン地区からテポドン2を発射し、失敗 ○ 09年4月5日のテポドン地区からの我が国上空を飛び越える発射でテポドン2または派生型を利用 ○ 12年4月13日の東倉里(トンチャンリ)地区からの発射でテポドン2または派生型を利用、発射は失敗 ○ 12年12月12日の東倉里地区からの発射でテポドン2派生型を利用

これまでの北朝鮮による弾道ミサイル発射状況(イメージ)



	スカッド	ノドン	テポドン1	テポドン2
93年		93年5月下旬の日本海に向けた発射で使用された可能性が高い		
98年			98年8月31日にテポドン地区から発射された弾道ミサイルの基礎となったと考えられる	
06年	06年7月5日、キテリョン地区から発射された計6発の弾道ミサイルは、スカッドおよびノドンであったと考えられる			06年7月5日、テポドン地区からテポドン2を発射 →失敗と考えられる
09年	09年7月4日、キテリョン地区から計7発の弾道ミサイルが発射されたと考えられ、それぞれスカッドまたはノドンであった可能性がある			09年4月5日、テポドン地区からテポドン2または派生型を利用した発射
12年				12年4月13日、東倉里(トンチャンリ)地区からテポドン2または派生型を利用したとみられる発射 →失敗と考えられる 12年12月12日、東倉里地区からテポドン2派生型を利用した発射